

宮古教育時報

発行者 沖縄県教職員組合
 宮古支部 情宣紙
 TEL 72-3328 FAX 73-2603
 ◇ 各分会の情報をお知らせ下さい。
 E-mail: otu-m@miyako-ma.jp

教職員定数6万人増へ

文科省案 来年度から8年で

学級少人数化などで 小中30~35人学級へ

公立小中学校の中長期的な教員配置の指針となる文部科学省の第8次教職員定数改善計画の全容が8月24日同省関係者への

取材で分かった。定年退職者の増加や少子化による自然減を踏まえ、定数を来年度から8年間で約2万人純増し、40人が上限の1クラス当たりの編成標準を30~35人に段階的に引き下げ、少人数化を図ることが柱。平成13年の同法改正で、学級定数は都道府県教育委員会の独自判断もできるようになっているが、国が正式に導入を決めれば、全国で一律に実施が義務付けられることになる。

このことに先だって、文科省は中教審に学級編制のあり方について審議要請を受け、報告書がまとめられていた。小中学校の少人数学級化を推進する中央教育審議会初等教育分科会は、教職員の増員を提言するほか、人件費に当たる義務教育費の国庫負担率引き上げについても検討するよう求める報告書案を公表した。文部科学省は来年度から段階的に少人数学級を実現するため、報告書に基づき、改正法や国庫負担率引き上げの検討に着手する方針。

報告書案は、1学級の児童生徒数について少人数化を求める今年6月の報告書案骨子を基に作成された。現行の1学級40人を引き下げるために「教職員の増員が必要」と提言。義務教育費について、国が負担する国庫負担率の割合を3分の1から2分の1へ引き上げること「検討することが望まれる」としている。義務教育費については、都道府県が3分の2、国が3分の1を負担している。もともとは2分の1だった国の国庫負担率は、平成18年度以降、引き下げられていたが、報告書案では、もとの水準に戻すことを検討するよう求めている。

国庫負担率については、「3分の1では地方自治体の財政を圧迫する」という意見も出ていたほか、行政刷新会議の事業仕分けでも、引き上げを求める声が出ていた。

ただ、教員増員で多額の財政支出増が予想されることから、報告書案については今後、議論も予想される。このほか報告書案では、学級編制について都道府県教委の同意を必要とせず、市町村教委が独自の判断で決定できるようにすることなども求めた。

文科省は来年度予算の概算要求で初年度分の必要経費を計上、来年の通常国会で上限を定めた義務教育標準法の改正を目指す。

参考資料・・・第4回「県議会議員・市町村議会議員」学習懇談会資料より 2010.8.20

米軍機飛来・米国海軍第7艦隊音楽隊の演奏会抗議

9月5日(日)、宮古空港駐車場にて、米軍機飛来・米国海軍第7艦隊音楽隊の演奏会に対しての抗議行動がありました。今回の米軍機飛来・演奏会については8月28日付けの県紙で明るみになり、降って湧いたような話に愕然としました。早速翌週の支部執行員会で議題として取り上げ、「この時期にこのタイミングで企画されたことに何らかの意図が感じられる。音楽隊とはいえ米軍組織の一部であり、立派な軍隊である。軍の音楽隊自体が宣撫活動であり、また米軍機で宮古空港に離着陸することや公共施設のマティダ市民劇場を使用することもおかしい。」等の意見が出され、「市民や民主団体等と連携を図り抗議活動を行っていく必要がある。」との意見にまとまりました。

9月1日には沖教組宮古支部の加盟団体である、連合宮古地域協議会(連合宮古地協)の臨時幹事会が開かれ、「友好親善のコンサートとはいえ軍の音楽隊自体が宣撫活動であり、民間空港の宮古空港に米軍機で離着陸することは到底受け入れられない。市民の米軍に対する抵抗力がどれくらいあるのか判断する意味もあると推測できる。」や「音楽という芸術活動を利用して、宮古の子どもたちを演奏会に誘うことは米軍の活動を容認して軍に慣れさせてしまう危険性がある。」等の意見が出されました。そこで急遽、翌日に連合宮古地協、宮古島市議会議員有志、奥平県議会議員と連携して記者会見を開き、「たとえいかなる理由があろうとも、米軍機の宮古空港使用に断固反対し、市民の意志を強く、明確に表し、ここに宮古空港と下地島空港の軍事利用・宣撫活動に反対する」ことを表明しました。

来島予定の9月4日が5日に延期になり、5日当日は宮古空港に「宮古圏域の平和な島づくりを目指し、次世代の子や孫達に大きな禍根を残すことがないよう、いかなる軍事利用も許さない」という決意を持って抗議しようと、大勢の労組関係や県・市議団有志、市民のみなさんが集合しました。運良く私たちの願いが天に届いたのか、台風による悪天候で輸送機が運航できないことを理由に今回の来島は取りやめになりました。しかし、主催の在沖米国総領事館は「12月中旬に日程を変更して、会場使用を申請中」としている。わたしたちは「教え子を再び戦場へおくるな」のスローガンの下、今後とも市民や民主団体と協力して、このような宣撫活動に抗議していくとともに、「公共施設を使用しての軍の活動や宮古空港・下地島空港の軍事利用を許さない」というさらなる決意で行動していくことが必要である。各分会でもくれぐれもそのようなコンサート等への参加奨励（チケット配布など）に協力しないようよろしくお願いいたします。



教育の日についてのアンケート依頼

ここ数年、2月の第3日曜日に実施されている“宮古島の教育の日”について、各分会や保護者から様々な声があがっています。宮古支部としても執行委員会でそのことについて話し合いました。まずは各分会の教職員が“教育の日”についてどのように

思っているかアンケートをとり、意見を集約した上で、必要であれば各機関と連携を取りながらいろいろ対応していきたいと考えています。アンケートの実施期間は9月いっぱいを目途にお願いします。より多くの教職員の声をお待ちしております。（お手数ですがアンケート実施後、分会で集約して、支部までお届け下さるようよろしくお願いいたします。）

第57次宮古支部教育研究集会開催について

今年も教研の季節がやってきます。今年でなんと！57次をむかえる歴史ある教育研究集会です。この間に様々な教育実践が生まれてきました。教職員はいきいきと教育研究・実践に励めるゆとりと仲間たちと語り合える雰囲気があったような感じがします。かつては自由かつ創造的な教育活動が行われてきたと耳にします。

かたや昨今、急速に様々な教育政策が現場に次々と導入されるなかで、教職員は息をするのもやっとという状態が続いて、教職員仲間同士でのコミュニケーションもままならないような雰囲気です。こんな時代だからこそ共に集い、心をひとつにして叢智を結集してエネルギーを貯蓄し、お互いの日々の悩みや実践等々を交換しながら、明日への活力へしませんか！日程は下記の通り。

全体会の内容は“学びの共同体”を中心に実践・理論を交え行います。お楽しみに！

全体会：10. 15 (金) 18:00~ 講演会講師 善元幸夫氏 場所：宮古教育会館 2Fホール
分科会：10. 23 (土) 9:15~ 場所：調整中 詳細は後日別紙にて

P. S. 10. 9 (土) 高教組宮古支部教研講演会“どうなる免許更新制”中央大学から池田賢市氏を招聘して実施 小中学校の先生方も是非参加をとのこと！

お待たせしました！

来る10月10日(日)17:00より、秋だけどうりずん祭りを実施します。今年で9回目をむかえる祭りです。たくさんの方の参加を楽しみに待っています！家族やお友達お誘いの上お越し下さい。場所は中央公民館野外ステージ広場にて！

*チケット&詳細等については来週発送予定

Come & join us!!

